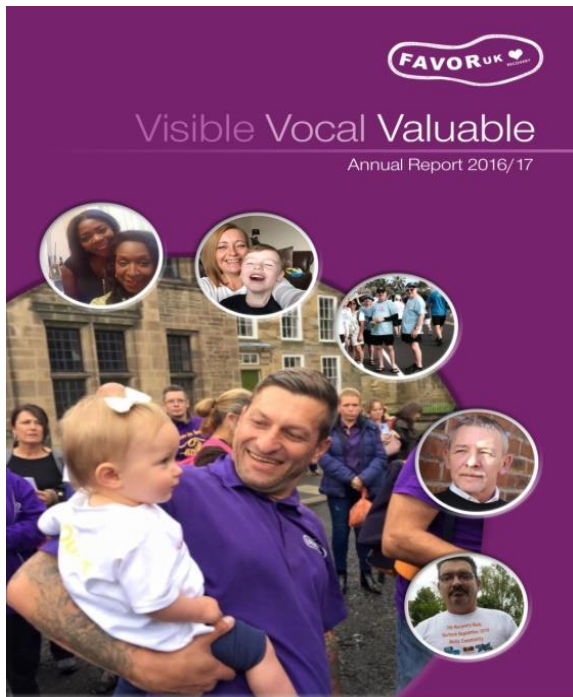


試訳版

アディクション
リカバリーコミュニティ組織 (RCO)
ツールキット
Recovery Community Organization
Toolkit



写真はイギリスのリカバリーコミュニティ組織HPから

私たちの顔と声で依存症からの回復の事実を社会に示し、
誤解、偏見、差別をなくしていこう。

地域にリカバリーコミュニティ組織（RCO）を作り、
苦しんでいる本人と家族に居場所を提供しよう。

目次

はじめに

リカバリーコミュニティ組織

I RCO：基本方針

II RCO：基本戦略

III RCO：その例

IV 州規模のRCO

V 地元のRCO

VI RCOの実例から学ぶ：成功のカギ

VII RCOを作る手順

付録 回復の権利章典

原文はネットで読むことができます

https://facesandvoicesofrecovery.org/file_download/inline/68610d77-430f-4711-8032-f526f4c6cf94



OASIS（ジョージア州サウスベントンのRCO）👉

はじめに

2001年に設立された「回復の顔と声」は、アメリカにおけるアディクションからの回復者、家族、同盟者が作り上げてきたリカバリーアドボカシーの豊かな歴史を踏まえていました。およそ70年前に、マーティ・マンは回復への社会全体の意識を高めるためにアルコホリズムの全国協議会を設立し、教育を提供する活動を始めました。アルコホーリクス・アノニマスの共同創業者であるビル・ウィルソンは議会で「ヒューズ法」の証言をしました。彼は数百名のAAメンバーが議会に集まり、健康と回復を示す日を思い描いていました。米上院議員の故ハロルド・ヒューズ氏は、長年にわたってアディクションから回復してきた人物で、1991年に「回復するアメリカ人協会（SOAR）」を設立しました。

回復のためのアメリカ人協会（SOAR）は、各界の代表が作っている草の根組織です。SOARは、アルコール／薬物依存症者とその家族は、他のすべての人々と同じ権利と恩恵を持つべきであると信じます。アディクションの治療と回復は、他の健康、社会、経済問題を減少させることに通じます。SOARはその理解を広げるために努力します。アルコホリズム、薬物アディクションという病気によって命が損なわれているすべての人の希望、正義、そしてチャンスを擁護してくださいますようお願いいたします。

— ハロルド・ヒューズ上院議員 SOAR創設者、議長

「回復の顔と声」は成長を続けるアドボカシー勢力に焦点を当てるために設立されました。「回復の顔と声」は、アルコールや他の薬物アディクションからの回復を始めている2000万人以上のアメリカ人、家族、友人、同盟者をRCOやネットワークにつなげ組織することに専念しています。その目的は、アドボカシー、教育、そして長期的な回復の力と証拠を示すことで回復の権利と資源を拡充することです。

多くの場合、その活動が主に孤立した個人によって担われるときに、回復の声は無視されがちで、効果的ではありません。歴史上の偉大な社会運動がそうであったように、大衆、政策立案者、そしてメディアは個人の声を容易に無視します。実際、長期的な回復という現実は、しばしば有名人のアディクションにまつわる暗い側面を煽るメディアと大衆の熱狂の陰に隠されています。

思慮深い献身的な市民の小さなグループは世界を変えることができます。実際、これが唯一の方法なのです。

— マーガレット・ミード

アルコールや他の薬物アディクションからの長期的な回復は、2000 万人以上のアメリカ人が達成している現実です。そして、毎年、数千人のアディクトたちが回復を始め、そのことによって本人やその家族、私たちが住んでいる地域社会、職場、学校に恩恵がもたらされています。回復の道は、回復している人の数と同じだけです。その回復の方法にかかわらず、彼らは回復は現実であり、アルコールや他の薬物アディクションの問題には解決策があることを示す生き証人です。

時代は変わったのです。必要とされる資源の獲得、回復へのあらゆる道筋の積極的な受け入れ、サービスの革新と提供、そして回復を求める人々への差別の終息などの優先的課題を中心にリカバリーコミュニティが統一されるにつれて、リカバリーコミュニティ組織 (RCO)、その物理的なスペースとしてのリカバリーコミュニティセンター (RCC) がアメリカ中で設立されており、さらに現在はカナダ、イギリス、アフリカなどの諸外国にも伝播しています。

強力なRCOを構築することは、孤立感や羞恥心を打ち破り、強固なきずなを築き、私たちが有効だと信じる解決策を提唱する一つの方法です。草の根組織は回復のリーダーを育成し、集団の声を表明し、地域のフォーラムを提供します。この運動の支持者を増やし協働することで、地域の生活に肯定的な変化をもたらされます。

RCOは通常、必要とされている資源がその地域に存在していないときに、回復に携わる個人や家族が創設します。多くの場合、正規の支援資金が得られるまでの間は自発的なアドボカシーとリカバリーサポートサービスを提供する組織として活動します。彼らは、効果的な組織の構築と、リカバリーコミュニティの人々の生活に真の変化をもたらすことに焦点を当てた課題を維持することとのバランスをとるためには、慎重な努力と定期的な調整が必要であることを学んでいます。

リカバリーコミュニティが協力して組織化が進むと、生活全般が向上することが分かっています。

私たちの多くは希望のメッセージを一对一で伝えてきました。この新たな回復運動は、希望のメッセージを地域社会全体および文化全体に伝えようとしています。いまこそ、私たちは前に進み出て、私たちの物語、時間、そして能力で歴史を作る時です。

— ウィリアム・ホワイト(回復とその運動の歴史の研究者)

リカバリーコミュニティ組織（RCO）

アメリカ各地の回復を担う人々、家族、友人、同盟者が様々なNPO法人を作り、アクションのために苦しんでいる2300万人以上の仲間が長期的

な回復を見つけられるようにリカバリーコミュニティ内外のあらゆる資源を動員しています。各組織はそれぞれの地域の特定の課題と懸念を反映した使命を持っています。

I. RCOの3つの基本原則

回復のビジョン、声の信頼性、リカバリーコミュニティへの説明責任は各地のRCOに共通する3つの基本原則です。

● 回復のビジョン

RCOは、2000万人以上のアメリカ人とその家族がアルコールや薬物のアドイクションから長期の回復をしているという現実には焦点を当てています。RCO、リーダー、そのメンバーたちは、アドイクションからの長期的な回復を求め、回復を進めている人々が利用できる支援の量と質を高めるという一つのゴールを持っています。「回復の顔と声」は、地域、州、連邦レベルで公的および私的な政策が実施され、個人や家族が回復に必要な支援を受けられるようになることを想定しています。これには、治療やピアサポート、その他のリカバリーサポートサービスを含む効果的なケアへのアクセスが含まれます。回復を始めている人々を差別する政策は撤回され、廃止されます。

「解決策」が焦点です。解決策には回復を促進するために個人および地域の資源を動員することが含まれます。特定のサービスやケアモデルは指していません。「回復の顔と声」の基本理念の一つは、回復へのあらゆる道筋を受け入れることです。この原則は、回復のビジョンとアジェンダの声明である「回復の権利章典」（巻末に掲載）において具体化されています。R

RCOは志を同じくするパートナーと戦略的提携を結びますが、このビジョンは、例えば、福祉機関、信仰ベースの地域組織、専門的アディクション治療、メンタルヘルス治療、およびプライマリケア提供者のそれとは異なります。

● 声の信頼性

声の信頼性とは、RCOはリカバリーコミュニティの利益代表であるという意味です。自己統治、相互扶助、支援が指針となる原則です。RCOはコミュニティへの奉仕のために発展しています。そこにはコミュニティのメンバーによるコミュニティのメンバーのためのリーダーシップがあります。RCOを構成するメンバーはコミュニティから集められた理事、マネージャー、スタッフ、ボランティアです。コミュニティとのこの強力な結びつきは、RCOの強さの源泉であり、リカバリーコミュニティの声が他の利益よりも優先されることを保障しています。

RCOは強固な草の根ネットワークを構築し発展させることを通じてリーダーを育成し、人々が意見を述べる機会と、コミュニティサービスのためのフォーラムを提供します。活発な活動を行っているRCOは、家族を含め、回復の経験を積んだ人々の声を聞き、受け入れ、組織の公的教育、アドボカシー（政策提言）、リカバリーサポートサービスが地域の幅広い回復ニーズに応えることを保障しています。

● リカバリーコミュニティへの説明責任

RCOの信頼性と有効性は、RCOが属するコミュニティへの説明責任の履行と対応能力にかかっています。ほとんどの場合、このことはRCOが独立した非営利組織であり、他の組織との関係を管理することが可能であることを意味します。例えば、RCOは治療提供団体、ドラッグコート、地域予防同盟または病院と緊密に協力しますが、統治においてはそれらから

独立しています。独立性はRCOがリカバリーコミュニティと政府機関、刑事司法制度、保健・福祉サービス提供者とのより大きなネットワークとの間のギャップを埋めることを可能にします。RCOの真の強みは、他のサービス組織とのつながりからではなく、リカバリーコミュニティに積極的に関わりサポートしている個人の声から得られるのです。

RCOは、回復を進めている本人、家族、友人、同盟者を動員し、彼らの声を擁護します。RCOはプログラミングとポリシーの決定において可能な限り「参加型プロセス」を取り入れ、そのプロセスにリーダー、メンバーの双方を関与させます。RCOはリカバリーサポートサービスの提供、公共政策の共通課題の提唱、回復の実情についての啓発を行うとともに、回復を目指す人々へのボランティアや有料の奉仕を通じて、人々が地域社会に還元するための組織的な方法を提供します。

Ⅱ. RCOの3つの基本戦略

RCOは、その使命を遂行するために3つの主要な戦略を用いて、回復に集中し、回復を重視する価値感とコミュニティの育成というミッションを達成します。各組織は、次の基本戦略を組み合わせて、優先順位を決めています。

1. 啓発

市民、政策立案者、治療／回復サービス提供者、メディアに回復の現実を伝えるために顔と声を出すことは、長期的なアクションからの回復の力と現実についての希望を与え、誤解と悲観論を払拭します。この戦略はまた、人々が回復を求めている際に直面する社会的・政策的障壁についての注意を喚起します。

RCOのメンバーは増加し続けています。その中には12のステップに基づくメンバーも含まれていますが、彼らは12の伝統のアノニミティの原則を尊重しながら「回復の顔と声」の回復メッセージを伝えています。

RCOは、ホームページの開設、広報室の設置、学校における教育フォーラムの開催、タウンホールミーティングの開催、ケーブルテレビ番組の放映など、さまざまな広報活動を行います。回復を始めた本人と家族が「回復の顔と声」のスピーチができるように訓練し、公的なイベントを企画し、より広い地域に回復をもたらそうと努力します。毎年9月の全国的な啓発活動である回復月間のイベントにも取り組みます。回復の現実を社会に向けて表現するための行進や各種のイベントを開催します。

2. 政策提言

RCOは、回復に価値を置く支援的な地域を構築するために、人々の長期にわたる回復の維持の妨げとなる公共政策の障壁に取り組みます。アディクションを公衆衛生の危機としてではなく、刑事司法の問題として対処してきた結果、犯罪歴のある人々に対して法的障壁が課されてきました。アドボカシーは、アディクションの経歴があるという理由で人を処罰したり投獄したりすることを終わらせることを目的とします。

このような障壁は、これら人々の生活の立て直し、就職、住まいの確保、家族や友人との再会をはるかに困難にしています。RCOは、地域、州、連邦レベルでのアドボカシー活動にも取り組んでおり、健康保険、プログラム開発、およびリカバリーコミュニティにとって意味のある資源配分についての政策と規制を推進します。

3. ピアベース、その他のリカバリーサポートサービスと活動

RCOは、多様なピアリカバリーサポートサービスとその拠点を革新し、届けます。その拠点であるRCCはコミュニティ内に永続的な物理的存在として機能しています。リカバリーコーチング、電話によるリカバリーサポートサービス、オールリカバリーミーティング、その他のサービスは、訓練を受けたボランティアや有料スタッフによって組織され、提供されています。RCCのネットワークは拡大しており、これらのサービスの拠点となっているだけでなく、地域全体の堅実な社会活動、ワークショップ、会議、リソースのつながりの場となっています。

以上の3つの基本戦略に加えて、RCOは以下の取り組みも行います。

- ・ リーダーを育成して、回復を始めている人々、家族、友人、同盟者が彼らの集合的な声を表現したり、新しいスキルと責任を学んだり、コミュニティサービスのためのフォーラムを提供したりする機会を得地映する

- ・長期の回復を続けている人々、家族らが彼らの人生に影響を及ぼしている問題について、発信する活動を擁護する
- ・地域医療のリハビリサポートサービス、その他の保健・社会サービスの妥当性と質に関するニーズを評価する
- ・回復を支援するコミュニティで利用可能な資産、資源、長所のアセスメントを行う
- ・アディクションの予防と回復の複数の経路について、市民、政策立案者、およびサービス提供者への啓発を行う
- ・アディクション治療、リハビリサポートサービス、リハビリサポートのアドボカシーのための慈善および公的支援を拡大し、回復の地域コミュニティ内でのボランティアリズムを育成することによる人的および財政的資源を開発する
- ・効果的な戦略と長期的な回復のプロセスを明らかにし、ピア及びコミュニティによるサポートについてのエビデンスの基盤を確立する研究を支援する

RCOの種類と例

このセクションでは、多様なタイプのRCOを例示して、RCOを特徴付ける原則と戦略を説明します。RCOが形成された背景や進化の歴史についての情報も紹介します。これによってRCOが展開する諸活動の成功の原則が分かります。

RCOは、それぞれの地域のニーズと目標に応じて、さまざまな方法で組織されます。そこでは基本的なビジョン、声の信頼性、説明責任の原則が具体化されていますが、その表現方法はさまざまです。州全体をカバーする組織もあれば、地域社会のニーズに焦点を当てているRCOもあります。これら地理的な範囲に加えて、各グループは異なる戦略を採用しています。

たとえば、州全体をカバーしているマサチューセッツ州アクション回復機構（MOAR）は、主に一般の人々の啓発と回復擁護に焦点を当てており、リハビリサポートサービスは提供していません。メンバーは州内の個人で構成されています。マサチューセッツ州の他のRCOは、リハビリサポートサービスを提供しており、州レベルの公共政策を提唱する活動のリーダーシップはMOARに委ねています。

対照的に、テキサス州エルパソの回復同盟は、エルパソ市民の意識啓発、リハビリコーチ、リハビリハウスの提供を重点的に行っています。また、州レベルの啓発、擁護団体である「テキサスは回復する！」の創設からのメンバーです。「テキサスは回復する！」は、州の政策に影響を与えるために結成された地域ベースのグループの連合です。

いくつかの州では、回復擁護に取り組む個人または地元のRCOが集まって州全体のRCOを作っています。バージニア州ではバージニアアクション回復評議会（ARCVA）が設立されました。ARCVAはより生産的な回復の解決策に向けて、バージニア州の政策に影響を及ぼすための回復擁護活動を行う個人から成るグループです。

ARCVAが組織した回復議員連盟は、パトリック・ケネディ議員連盟とジム・ラムスタッド議員連盟の元メンバーによって立ち上げられた連邦アクション治療／回復議員連盟をモデルにしました。ARCVAは回復議員連盟と協力して、長期的な回復のためのサービスを展開しているRCOを支援しています。

組織と個人が州レベルで協力し、統一された方法で政策問題を提唱する流れが全米に広がっています。彼らはアルコールと薬物の行政、矯正局、保険局の当局者を含む州の機関に働きかけ、声をあげています。医療費負担

適正化法の実施に基づいて、新興の医療取引所や州の他の医療および資金提供団体と協力しています。

Ⅲ. RCOの代表例

①コネチカット州アディクションリカバリーコミュニティ

アディクション回復のためのコネチカット地域CCARの創設理事であるボブ・サベジは、1998年に「コネチカット州アディクション回復のためのコミュニティ」(CCAR)を設立しました。その後、コネチカット州の精神保健・アディクションサービス部門と連邦政府のリカバリーコミュニティ支援プログラム(RCSP)からの助成金を受けました。ボブの呼びかけによって、州全体で毎月支部会議が開かれ、RCOへと発展しました。CCARは、彼が州政府で働いていたときに頭の中に浮かんだ二つの質問がきっかけになっています：

1. 私たちがアディクションからの回復を始めた人々に関して批判的な判定を下しているときに、彼らはどこにいるのだろうか？
2. 彼らにとって重要な問題を提唱するために、リカバリーコミュニティは組織することができるだろうか？

元々はアドボカシー組織として始まったCCARですが、そのメンバーの多くは、アドボカシーだけでなくサービスも提供したいと望むようになりました。CCARはピア主導のサービスを開発することでそれに対応しました。2002年以来、CCARはこれらのサービスを開発および改良してきました。CCARが開拓した重要なサービスの一つは「電話チェックイン」

と「コーチング」を通して回復初期の個人をサポートするピア電話サポートです。

CCAR理事会は会員の定義を明確にしていません。メーリングリストに参加することに同意した人がメンバーになります。会費は決められておらず、個人寄付キャンペーンを行っています。CCARはメンバーに対して、アドボケートないしピアサポーターとしていろいろな形でボランティア参加するよう求めています。

CCARのリカバリーコーチアカデミーは全国のRCOがモデルとしている訓練機関になっています。CCARは2012年だけで27州からの受講者997名に対してリカバリーコーチ研修を実施しました。

CCARの現在のエグゼクティブディレクターであるフィル・バルンタインは、CCARの歴史を通して学んだ教訓を伝えています。

CCARの教訓

- いくつかのプロジェクトを選び、成功させる。すべてをやろうとしないこと。
- 家族、家族、そしてもっと多くの家族を！ 家族は回復擁護運動の最も強力な支持者になる可能性を秘めている。
- 州機関と連携する。彼らに対してではなく、彼らと共に活動すること。
- 回復している有給スタッフには正当な給料を払う。彼らの経験を大切にすること。RCOが回復している人々に給料を支払わないで、誰がそうするのか？
- 意見を表明するのが不快なときでも、私たちには聞くことができ、話す権利がある。
- 信頼性が重要。
- 理事会を最大限尊重する。

- ・慎重に雇い、雇うときは時間をかける。
- ・特定の分野での経験豊かな人からの助けを求める。
- ・自分の課題と成功を共有する。
- ・優れた人々と協働する。

以下はCCARの啓発、アドボカシー、ピアリカバリーサポートサービス、トレーニング活動の成長と発展の簡単な歴史です。

コネチカット州のアディクシオンリカバリーのマイルストーン

1997年

- ・第1回回復地域組織の会合を開催。

1998年

- ・CSATの回復組織サポートプログラムから資金提供を受け、財政基盤を確立。その後、コネチカット州精神保健・アディクシオンサービス局(DMHAS)からの資金提供も得られた。

2000年

- ・第1回「リカバリーウォーク！」のアイデアはリカバリーコミュニティから生まれた。アディクシオンの回復を擁護する行進はそれまで一度もなかった。第1回の参加者目標は50人、しかし蓋を開けてみたら700人が参加。
- ・精神衛生回復の擁護者と協力して書かれたRecovery Core Values（回復の中核となる価値感）は、国のモデルとなった州全体の回復指向の医療システムの基礎となった。
- ・ビデオ「回復への顔」と「回復の治癒力」を製作。
- ・第3回立法記念日を開催し、数名の議員が初めて自らのアディクシオンの回復をカミングアウトした。

2004年

・同州最大の新聞「ザ・ハートフォード・コーラント」に掲載され、ウィルマンティックを「ヘロインタウン」と名付けた記事が注目を集めた。これを受け、ウィルマンティックに最初のRCCを開設。

2005年

・ニューロンドンにRCCを開設。
・回復の家プロジェクトを開始。州所有／民間運営のソーバーハウス（しらふの家）の目録作成、リカバリーハウジングプロジェクト開始、ハウジングの連合設立。ハウス基準作成リカバリーハウス運営者対象の訓練実施。

2006年

・ブリッジポートRCC開設
・ハートフォードRCC開設

2007年

電話サポートプログラム開始

2008年

・回復コミュニティの組織およびその他の組織にコンサルティングと技術支援を提供するため、回復技術支援グループ(RTAG)を設立
・7日間の研修「学習実験室」に30名が参加し、第1回リカバリーコーチアカデミーを開催

2009年

・回復コメディアンマーク・ルンドホルム氏との第4回ボランティア表彰・祝賀晩餐会を開催。参加者209人中、108名がボランティアだった。
・CT矯正局よりハートフォード仮釈放地区の人々を対象としたリエントリー回復プロジェクトに関して10万ドル受領。
・「リカバリーウォーク！」10周年を祝う

2010年

・テレフォンリカバリーサポートに1,200人以上が登録
・CCARボランティアジェラルド・リベラがLifetime Achievement Awardを受賞

2011年

- ・ボランティア活動が2万時間以上を記録。RCCの訪問数が45,000人を超え、前年の3倍となる。
- ・電話リカバリーサポート登録者が1,900名を超えた
- ・第12回「リカバリーウォーク！」開催

②アディクションの影響を受けている人々（家族、友人等）の協会

1998年、テキサス州ダラスに、「アディクションの影響を受けた人協会（APAA）」が設立されました。その焦点は、マネージドケア環境下で対応できていない回復を求める人々のニーズに応えることでした。APAAは1998年に薬物乱用治療センター（CSAT）からリカバリーコミュニティ支援プログラム（RCSP）の助成金を受けました。今日、APAAは、リカバリーマネージメントを提供する、リカバリーコミュニティ内のボランティア活動を推進する非営利団体です。非臨床的なピアによるアシスタントを提供し、リカバリーサポート、再発防止、健康促進サービスを提供しています。（中略）

APAAが始まったばかりの頃、メンバーは回復を求める人々にすぐ役に立つ行動を起こすことを強く望んでいました。その時点では、健全な組織基盤を築くための忍耐強い取り組みは困難でした。時間の経過とともに、治療から回復へ焦点をシフトすることの重要性と、個々の回復作業と集団的な回復擁護活動との違いについての認識が定着するようになりました。

2001年に、APAAは501(c)(3)の地位を取得し、理事会はAPAAのプログラムと優先事項を決定しました。多くのメンバーがAPAAの地域

活動に積極的に参加しており、市、郡、および州全体の諮問委員会、計画グループ、および政策フォーラムで指導的役割を果たしています。APAAメンバーは州および地方レベルでも回復の現実を証言し、プレゼンテーションを行っています。APAAは州全体のRCO「テキサスは回復する！」の創設メンバーです。

2007年に、APAAはマネージドケア団体とサービス契約を締結し、重複障害を持つ個人へのリカバリーサポートサービスの提供を始めました。APAAは、医療費が払えない人のための治療機関、メンタルヘルス協会、精神障害者連合、および精神障害者ダラス全国同盟との関係を築いて、これら組織の情報を周知する活動を始めています。

APAAの基本的な価値観：

- 回復とソブリエティに関与すること
- ドラッグと犯罪のないライフスタイルの持続可能性
- APAAの活動とメンタルヘルスに対する説明責任
- 正しいことをする勇氣
- 他人に役立つ意欲
- 他の人々、特に一定の脆弱性を持つ人々への意識的な配慮
- 多様性と包含性

APAAはまた、回復をテーマとする映画の普及などの社会活動を含む、教育・啓発活動を開拓しています。

IV. アドボカシーに重点を置く州レベルの RCO

マサチューセッツアディクション回復機構 (MOAR)

MOARは1991年に設立されました。回復者、家族、同盟者の集団の声を組織し、回復の価値を人々に啓発することを目的にしています。MOARは1998年に、アディクションリカバリーニューイングランド連合(NEAAR)に参加しました。1998年から2001年にかけてRCSPの助成金を受けています。MOARの回復教育に関する活動はサードセクターニューイングランドの財政支援を受けて取り組まれています。また、マサチューセッツ州薬物乱用防止局、公衆衛生局からも資金提供を受けています。その他の財団と個人の資金は、MOARが回復志向のケアシステム、オーバードース防止、そして政策立案者教育を構築するのに役立てられています。

MOAR設立理事会は1年かけてミッションを作りました。その理由は、回復への多くの道筋が確実に表明され、多様な経路を通して回復している本人、家族、そして同盟者の参加を確実にしたかったからです。MOARは州全体でフォーカスグループ(利用者から情報収集するためのグループ)を開催し、長期的な回復に向けた個人と家族の声と意見を収集しました。MOARでは、保険制度、継続的ケア、そして回復を始めている人々の声にマッチした刑事司法政策の変更の必要性を訴える家族の声が際立っていました。

MOARは教育、計画、およびコミュニケーションのためのリソースとして知られています。家族支援の州全体のネットワークを構築するために広範囲に活動しています。スタッフを集めるときに、薬物治療、信仰、相互

支援、治療など多様な経路を通して回復している人々に意識的に声をかけました。MOARのスタッフと理事会には、長期的な回復、民族の多様性、そして家族の利益が代表されています。

MOARのメンバーである回復を始めている本人、その家族、友人はアディクションからの回復の価値、コミュニティと職場における社会的コストについて、一般市民および政策立案者に向けて話をし、啓発、教育を行っています。MOARは20年間にわたって、9月のリカバリー月間中のアディクションリカバリーを州議会前で行っています。また、四半期ごとにフォーラムを開催し、互いに啓発し合い、政策立案者の意見を聞く機会を作っています。

MOARはアディクションリカバリー啓発アクセスサービス(AREAS)を提供しています。これは、回復を始めている人々の間に肯定的な社会的つながりを作るピア主導の啓発セッションです。MOARはまた、複雑な社会サービスシステムをナビゲートする方法に関する実用的な情報を提供しています。AREASは共同学習アプローチを採用しています。そのトピックは、「C型肝炎」、「事実を見つけ、でっち上げの神話と闘う」、「犯罪者記録情報」「リカバリースピーチ」「ハウジング」「精神衛生」「トラウマ」「アディクションと回復」「健康的な関係の構築」などです。

MOARは、Massachusetts Coalition for Addiction Services (アディクションサービスのためのマサチューセッツ連合) の設立に大きな役割を果たし、現在では10団体の連合体にまで成長しました。この連合体は政策立案者に対して継続的な医療を戦略的に構築する必要性を教育しています。また、アヘンの使用や州内での過剰摂取による深刻な予算削減の脅威にさらされているサービスのために戦ってきました。連合の議長はMOARの事務局長が務めています。

ケンタッキー州——回復を擁護する人々（PAR）

PARはケンタッキー州の全州RCOとして2002年に設立され、2006年に非営利の地位を獲得しました。同州では、Join TogetherのDemand Treatmentプロジェクトの一環として、リカバリー関係者とその同盟者が一同に会し、アディクション関連の問題で救急治療室に入る人々の支援を提供するAngelプログラムを開発しました。

ジョンソン研究所によって実施されたリカバリー・アンバサダーのアドボカシートレーニングの後、このグループはPARを結成し、アドボカシーと啓発に焦点を当てる活動を開始しました。過去20年間に予算計上された国家予算は比較的少額でしたが、アディクションの問題は治療と回復の選択肢を増やす必要性が注目されています。

PARの立法上のアドボカシー課題には、貧困者の待遇改善のための資金の増加、元重罪犯の投票権の回復、州の政策諮問委員会への回復者の配置の増加、進路変更前プログラムへの取り組みなどが含まれています。PARは、ケンタッキーコモンウェルス、カトリック会議、女性有権者同盟など、他のアドボカシー団体と効果的なパートナーシップを築いています。ケンタッキーコモンウェルスに加入している投票権回復連合(ROVRC)とPARの協力は、実りある協力を促進しました。PARの3人の理事は、連合の執行理事会のメンバーでもあります。PARはROVRCと協力して、回復擁護の教育を提供し、集会を開き、議員を教育してきました。PARのメンバーは、多くの委員会の公聴会で証言を行い、議員と一対一で話し合い、支援を必要としている人々へのアウトリーチと接触を行い、公の場に姿を現すことで電子メディアや印刷メディアで取り上げられています。

PARは当初、厳密なボランティア組織として活動していました。PARは現在6つの支部を持ち、さらに二つが作られようとしています。メンバー数は4000名です。各支部はそれぞれ理事会に議席を持ち、「全州選出」委員はそれぞれ異なる見解と多様な政治的所属によって選ばれています。2009年には、PARはグレーター・シンシナティ保健財団の支援を得て、ボランティア委員会の設置と有給の事務局長を雇用し、新しい発展段階に入りました。これにより、フランクフルトなどの州都での擁護活動が活発になり、州周辺の回復資源の選択肢が増加し、各支部の発展を支援することが可能になりました。2011年、PARは研修と技術援助の提供能力を拡大させ、ケンタッキー州のピアリカバリーサポートサービスについての教育を展開しました。

V. 地域レベルのRCO

ペンシルベニア州回復機構——コミュニティを共に作る（PRO-ACT）

PRO-ACTは1997年に設立されました。PRO-ACTの目的はアクションのために苦しんでいる人々、リカバリーコミュニティのメンバー、家族の権利を促進し、その機会を確保することです。PRO-ACTは37年間の地域の動員、教育、および擁護活動の歴史を持つアルコール乱用および薬物依存に関する全国評議会に加盟しているサウスイースタンペンシルバニア評議会が主催するプロジェクトです。PRO-ACTは、1998年、2001年、2006年の連邦政府のリカバリーコミュニティサービスプログラム（RCSP）の助成金およびその他の支援を受けて発展してきました。

PRO-ACTは、ペンシルベニア州南東部の5つの郡（Bucks、Chester、Delaware、Montgomery、Philadelphiaの各郡）でアドボカシーおよびピア

リカバリーサポートサービスを提供しています。PRO-ACTは、州全体のRCCである Pennsylvania Recovery Organizations Alliance (PRO-A)の傘下にある、ペンシルベニア州の3つの地域のRCCのうちの一つであり、他の2つは、ハリスバーグのThe RASE ProjectとピッツバーグのRecovery Messengersです。

この組織は、セントラルバックス リカバリーサポートサービス、フィラデルフィア RCC、PRO-ACTリカバリートレーニングセンター、およびサザンバックス RCCを運営しています。PRO-ACTのピアサポートプログラムは、奉仕とボランティアリズムの原則によって支えられており、エンパワメントと回復資源のコンセプトを育成しています。また、プログラムと活動を周知するために地域社会のニーズについての継続的なアセスメントを実施しています。RCCは、リカバリーハウジング、サポートホットライン、リカバリーコーチング、履歴書作成、子育て、ソーバー&クリーンレクリエーション、ライフスキル教育など、さまざまなピアリカバリーサポートサービスを提供しています。

PRO-ACTの家族教育プログラムは、アディクションのために苦しんでいるメンバーをもつ家族に提供しています。PRO-ACTのボランティアファシリテーターは、アディクションに対処するために必要な情報およびリソースと、回復を始めるために必要なツールを提供しています。ファミリープログラムは3回シリーズで毎月提供されており、参加するには登録する必要があります。

PRO-ACTは長年にわたり、州および国の政策に影響を及ぼしてきました。彼らは州レベルで他の組織と協力して、予防、治療、リカバリーサポートサービスを支援し、連邦、州、そして地方の予算からの増資を提唱しています。PRO-ACTはフィラデルフィア市と密接に連携しており、回復サービスを変革するために7年間の取り組みに携わってきました。

PRO-ACTはレクリエーションやお祝いを含むウェルネスを重視します。毎年9月に、恒例の「リカバリーウォーク！」を開催しており、2011年には15,000人以上の人々の参加を得て成功させました。リカバリーウォーク！の呼び物の一つは、自治体レベル、国レベルの議員を招いてのアドボカシー活動です。

VI. 経験から学ぶ：RCO成功の秘訣

以下は強固なRCOを作るための重要な原理です。

1) 時間をかけて共通のビジョンとミッションを作る

ある組織のビジョンステートメントは未来の希望を提供し、その組織の道標として役立ちます。ミッションステートメントは組織がたどる道であり、その組織が何者であり、目標にどのようにして到達するかの方法を特定します。「回復の顔と声」はその活動と方向性をさらに磨き上げるため、2009年にビジョンとミッションステートメントを更新しました。理事会、スタッフ、およびメンバーはこれらのステートメントを使って、組織の活動の焦点が回復に当たっていること、その使命に忠実であることを確認します。

2) 組織の独立性、責任感、管理の維持

多くのRCOは独立した501(c)(3)の地位を得る前に、財政の役割を担う別のグループの傘下で設立されています。また、PRO-ACTやFriends of Recovery Vermontなどの他の組織は、それぞれの受入機関との関係を築くことで、組織の資源、課題、活動への責任感、管理を維持することができました。他のRCOの中には、「親」組織と衝突したために、

独立した組織構造にするために奮闘しているところもありますし、運営上に支障が出てきたために親組織を変えたところもあります。

3) 多様化する資金調達の流れ

RCOは、公的機関や政府機関、企業、個人財団、個人から資金を得ています。連邦政府の資金提供プログラム RCSP は、一部のRCOのインフラストラクチャの構築に役立ちました。資金が切られたときは、矯正部門のような他の公的な資源を利用した組織もあります。多くの組織は単一州機関（SSA）からのブロック助成金または他の資金を使用しています。民間財団の資金と企業の寄付は組織の発展に有益です。リカバリーコミュニティのメンバーからの「無制限の」資金は、擁護活動と教育キャンペーンに資金を供給するために開発されています。RCOは、「無制限」の資金を確保するために、資金の流れを多様化し、個人からの資金を増やすことに取り組んでいます。

4) アドボカシーをRCOの課題の一部にする

RCOは州議会で証言を行い、州の支出の優先順位に影響を与え、差別を撤廃し、回復志向の支出の優先順位を支援するための特定の法律の制定に向けてロビー活動を行います。アドボカシーとロビー活動を同じ意味で使う人は多いですが、実際には異なるものです。

非営利団体は自分たちのために活動し社会の一部に影響を与えようとしています

それは、個人の行動に訴えるものであったり、雇用主に訴えるものであったり、政府に訴えるものであったりするわけですが、ロビー活動は、特に法律に影響を与えようとするアドボカシー活動を指しています。この区別は、非営利団体によるロビー活動を制限する法律が、他のアドボカシー活動を規制するものではないことを意味するので、覚えておくと役立ちます。これらの活動に「無制限の」資金が使用されている場合は、適切な報告の

履行を確認することが重要です。501 (c)(3) の組織によるロビー活動については、参考文献のセクションを参照してください。

5) 回復に焦点を絞る

2000 万人以上のアメリカ人がディスカッションからの回復を始めています。ますます多くの人々が RCO に参加し、政策の変更のために力を注いでいます。彼らは治療、予防、あるいはアディクションの症状ではなく、回復を重視しています。RCO のグループの数と影響力が拡大するにつれて、他団体から提携を求められるようになります。RCO もまた、回復アジェンダに関して同盟組織と提携しています。アディクションによって影響を受ける人々の協会 (APAA) がその初期の時代に学んだように、明確なビジョンと使命を持つことは非常に重要です。彼らはもともとダラスのマネージドケアプラクティスのシステムを変えるという問題に取り組んでいましたから、回復に焦点を当てたものではありませんでした。APAA は会合を開き、自分たちの中心課題と活動は回復であると決めました。

6) リカバリーコミュニティ内での多様性の認識と受容

「文化的責任」とは、多様な文化的、経済的、ジェンダー、その他の背景を持つ人々を巻き込む能力を持つことであり、RCO の目標であるべきです。すべての人の回復や人生経験を重視する組織は、サービスや擁護する能力を豊かにします。いくつかの組織は特定のコミュニティに焦点を当てて発展してきました。たとえば、ホワイトバイソンは、アメリカインディアンの非営利慈善団体ですが、全国のネイティブアメリカンコミュニティに、ソブラエティ、回復、アディクションの予防、およびウェルネス/ウェルブラエティなどの学習リソースを提供しています。ホワイトバイソンの哲学と慣行はアメリカ先住民に特有のものです。多くの文化に応用されています。多くの非アメリカインディアンがホワイトバイソンの癒しのリソースを使うようになったのです。これは、一つの組織が大事にしてい

る態度、行動、スキル、ポリシー、および手順を促進することによって多様性を受け入れる組織文化を確立した組織のほんの一例です。

PRO-ACTは、自尊心、人間関係、内面の美しさに焦点を当てた女性サポートグループミーティング(毎回1時間のシリーズ)を開いています。別のRCOですが、Webサイトにアップされている英文資料が簡単に他言語に翻訳できる機能を備えています。

7) 回復への多様な道を評価し尊重する

リカバリーコミュニティは私たちの社会全体と同じくらい多様であり、その多様性は人々が追求する回復への複数の道筋に反映されています。一人ひとりの個人的な回復は、それぞれの経験、強み、そして価値観を反映することができるはずです。これらの多様な経路には、医療、公衆衛生、信仰、そして社会的支援などのアプローチが含まれます。12ステッププログラムから認知行動療法、薬物治療まで、人がそのどれによってソブラエティを見つけ維持しているかは問題の核心ではありません。重要なことは、誰でも自分に効果のある回復の道を見つける権利と機会を持っているということです。その機会を確実なものにするために、RCOは回復への多様な道筋のすべてを可能な限り評価し尊重する必要があります。

多くのRCOがピア主導のオールリカバリーグループ(ミーティング)を主催しています。このグループは回復を進めている人々、家族、友人、そして同盟者が集うオープンミーティングで、回復という共通の目標について話し合っています。CCARはコネチカット州イリマンティック地域のオールリカバリーグループを最初に始めました。

休日の祭典、教育プログラム、ダンス、アートショーなどのRCOが取り組む家族向けの活動は、回復への多様な道を評価、尊重することでコミュニティを強化するもう一つの方法です。

8) 現在のリーダーをエンパワメントし、新しいリーダーを育成する
RCOには強力なリーダーシップが必要です。実際、成功した組織は現在のリーダーに投資し、将来のリーダーを常に育てています。そこには明確に定義づけられ理解された役割と責任があり、それによってメンバーとスタッフは組織のミッションを遂行することができます。すべての組織がそうであるように、有給のリーダーもボランティアのリーダーも、現在と将来への、RCOの最善の利益を念頭に置く必要があります。

9) 地域、国内、国際的なRCOとの関係構築
成功したRCOは互いに学び合い、支援のネットワークを構築します。バーモント州のバーモントリカバリーネットワークは州の11箇所のRCCの共同事業体です。「回復の顔と声」は国内のRCOのネットワークです。アディクション回復のためのニューイングランド同盟 (NEAAR) は地域全体のRCOの連合体です。世界核国間のRCOの連携が始まっています。より多くの情報は「回復の顔と声」のウェブサイトに掲載されています。

10) 同盟組織との友好関係の構築
アディクションと同様に、回復は個人、家族、そして地域社会に影響を与えます。RCOは、アドボカシーと回復サポートの問題に関して戦略的提携を結んでいます。友好団体には、治療提供者、ヘルスケア専門家、雇用主、教師、信仰団体、児童福祉サービス提供者、法執行官、弁護士、労働組合および議員が含まれます。「回復を擁護する人々」は、ケンタッキー州の連邦および女性連盟の投票者と協力して、薬物有罪判決を受けた人々の投票権の回復に努めています。ミネソタリカバリーコネクションはアート関係の別団体と共催して、2011年クリーンIIアート展を実施しました。「ア

ディクソンからの回復メイン州協会」は AdCare 教育協会などのサポートを受けて、回復に取り組む女性のためのリーダーシップ訓練を3日間実施しました。CCARは最近、地域教育を提供するためにコネチカットのある団体と契約を交わしました。

11) RCOを組織し構築することはプロセスであり、イベントではない RCOを形成するプロセスは継続的かつ進化的です。組織計画担当者は、これを実現するための場所とリソースを確保する必要があります。最初は、指導者グループができるだけ頻繁に集まることが重要であり、プロセスを継続的に進めていくには強い焦点が必要です。多くの人をひき付ける組織は、機会を利用して、適応能力、調整能力に優れています。RCOはその成長と共に、使命を実行するための新しい方法を考え出すことができます。時には後退することもあります、そこから学ぶことができます。

全国回復住宅協会 (NARR) は、全国の回復住宅のプロバイダーが作った新しい組織です。この協会の構想は、2010年秋にジョージア州、コネチカット州、ミシガン州の人々によって開発され、2011年5月、全国各地の指導者たちが集まり、全国レベルのネットワークの構築について検討しました。そして、住宅のための運営基準と回復住宅のための全国レベルのアドボカシー活動を発展させることを確認しました。2011年9月には回復住宅の国家規格を導入し、翌年の計画を立案するための総会を開催しました。この点に到達するためには、毎週の電話ミーティング、計画作業、企画会議、その他の活動が必要でした。初年度には NARR リーダーシップが暫定理事会によって推進され、いくつかの委員会が設置されました。初年度の終わりには、完全に形成された取締役会がリーダーシップをとるようになりました。

12) 組織のニーズに合ったメンバーシップ構造を開発する。

メンバーシップにはさまざまな種類があります。「テキサスは回復するす！」は年会費を支払う人をメンバーとして定義しています。「バーモント回復ネットワーク」のメンバーは、州全体のRCCです。CCARのメンバーはCCARの活動に参加する個人です。一部の組織では、個人であれ組織であれ、メンバーが所属するために支払う年会費を定めています。

13) 回復の顔と声を通じて国民を啓発する

私たちの友人、隣人、雇用主、そして政策立案者たちは解決策についての情報を非常に欲しがっています。ほとんどすべてのRCOはPTA、ロータリークラブ、収監経験のある人々、議員、メディアの人々を招き、彼らの前で訓練を受けた個人がスピーチする機会を作っています。多くのRCOは家族、回復に取り組んでいる人々、その他のコミュニティメンバー向けに、人気のあるトレーニングやワークショップを実施しています。「回復の顔と声」の“私たちの物語には力がある”メッセージとメディア向けの回復メッセージトレーニングは全国のRCOが実施しています。

VII. RCOを設立するステップ

現在の組織化された回復運動は、教会の地下室の閉ざされた扉の陰から、ソーバーハウス（しらふの家）から、そして長期間の回復を続けている多くの人々（しばしばアノニマスの）とその家族の生活から、回復を運ぶという必要性から生まれました。他の社会運動の提唱者がやってきたように、回復を提唱する私たちは、回復への統一した声を見つけ、生活全般の回復という焦点を前に進めるために、具体的なステップを踏む必要があります。

数年前、ハンブシャイアの「新しいハンブシャイアの友人たち」は、民間財団の支援を受けて組織のあり方を再考しました。組織を活性化させるために新しいメンバーの参加を促し、州全体の回復運動を前進させたいと望んでいました。彼らがたどったプロセスは、これからRCOを作ろうとしている人々が採用できる優れたモデルです。

ハンブシャイアの彼らはRCOのビジョンと学習の場として、州の全域で一連の会議を開きました。その結果、コアメンバーたちに目的を明確にするプロセスが委ねられ、各地の会議でリカバリーコミュニティに関する重要な問題の学習を地域で行い、コミュニティの声が反映されるようにするにはどうすればよいか、ネットワークを大きく作りあげるにはどうすればよいかなどの組織の展望を話し合いました。この計画のプロセスの最後に、新しいビジョンとミッションの文書が策定されました。また理事会メンバーが選出され、事務局長の雇用を含む作業計画が採択されました。各地の会議で特定された問題は、新しい理事会のリーダーシップの下で取り組まれることになりました。

ビジョン

RCO設立の最初のステップはコミュニティのビジョンを策定することです。ボブ・サーベジはCCAR設立の構想を練るなかで、リカバリーコミュニティが関心を寄せていることを知るため、州の各所でミーティングを開きました。ビジョンを策定するプロセスはグループの将来への希望を明確にすることであり、そこに関与する人々のこと、その構成と運営の方法を検討することが含まれます。このプロセスは何ヶ月もかかることがあります。

多くのリカバリーコミュニティ組織は献身的なボランティアたちがグルー

プを作ることから始まります。これらの個人は、運営委員会または計画立案グループとして組織化される必要があります。これによって、タスクが分割され、プロセスを前に進めることができます。彼らは常に透明性を持ち、より大きなグループに対して責任を持つべきです。理想的には、リーダーシップ、コミュニケーション、および傾聴のスキルを発揮することが必要です。最も重要なことは、彼らが個人的な課題を脇に置いて、共通のビジョンと目標に向かって協力することです。

運営委員会のメンバーは、リカバリーコミュニティの多様性が代表される必要があります。州全体のRCOを作る場合は、地理的な代表が特に重要です。RCOの組織化と構築はイベントではなくプロセスですから、運営委員会はより大きな地域が計画プロセスに参加するための時間や、会合を開いて計画立案の時間も設定する必要があります。

運営委員会は顔を合わせての会議や電話会議という方法で開きます。州全体のRCOの場合は、州内のさまざまな場所でプランニングミーティングを開催するのもよいでしょう。会議の場所への交通手段とタイミングは重要事項です。仕事を持っている人たちを引きつけ、参加してもらうためには、会議を週末に予定するとよいでしょう。ミーティングは参加しやすい時間、場所を設定することが重要です。州内全域の会議の場合は交通手段を考慮する必要があります。車の相乗りやバス輸送も検討する必要があるかもしれません。運営委員会がとりわけ重視すべきは、会議のスケジュールです。それによって会議の参加者はRCOがいつ、どのようにして組織化されるかを知ることができ、期待も膨らみます。

良いミーティングを持つ

このビジョン策定プロセスは電話を使ったりじかに会って進めます。各ミーティングには、議題と「基本ルール」が必要で、それによってこのプロセスに関心を惹きつけ、関与してもらうことができます。私たちは、この運動にかかわってくれる人たちが各々の時間と才能を提供していることをつい忘れがちで、他方、私たちは彼らの関与を失いたくないと考えているはずです。RCOの中には、最初の段階で「基本ルール」ないし「活動規範」を決めているところもあります。

このプロセスを成功させるためには以下の事項が役に立ちます。

- 互いを尊重する気持ち
- オープンにする
- 同時に二人以上が発言しない
- 傾聴する
- 合意点を見つける努力をする
- 守秘義務
- グループが重要と考えるその他の合意

ミーティングを成功させるためには以下も参考になります。

- ・議長と書記（議事録を残す）は必須
- ・会議の数日前にはすべての参加者に議題を送る
- ・会議の冒頭で、議題の変更や追加が必要かどうかを出席者に確認する
- ・会議や議題には一定の時間をとってください。
- ・会議に責任をもつ人たちには議事録を送る。議事録には議題に関して会議の結果と次回以降の開催責任者が記載されている必要がある。

ビジョンの策定

リカバリーコミュニティの関心を把握し、RCOがコミュニティの人々の優先事項を反映しているかどうかを確認する方法はいくつかあります。多様な意見やアイデアを収集して、RCOに継続的に関与するよう促すことが重要です。一つの方法はコミュニティ傾聴フォーラムとタウンホールミーティングを開催することです。そこでは参加者の声を聴き、現在の問題について地域の活力を得ることです。また、オンラインまたは郵送による調査を行うのもよい方法です。どのような形式であれ、声を聴くプロセスは組織の能力向上に不可欠です。これはRCOにリカバリーコミュニティの声が反映され、RCOの活動への参加を促すために、またプログラムが優先されることを確実にするために、継続的に行うべきプロセスです。もちろん、新しい組織が必要なことをすべて一度に行うことは不可能です。このコミュニティとのふれあいのプロセスは、優先順位の決定、関係の構築、プログラムの開発、そして議題の策定に役立ちます。

ミッションとビジョンのステートメントを作成する

ミッションステートメントはRCOの羅針盤であり、基本的な目的または「使命」が表されています。そのRCOのビジョン、夢を実現する道筋とも言えます。これがあれば、組織内の誰もが、自分が正しい方向に進んでいるかどうかを常に判断でき、特定のプロジェクトや方針について意志決定するときのチェックポイントになります。ミッションステートメントは、私たちが誰にサービスを提供するか、どのようなニーズを満たそうとしているか、そして地元の人々にどのようにサービスを提供するかを示しています。動機付け、関与、忠誠心を喚起するような方法であなたのRCOの目的が表現される必要があります。FACE IT SIOUX FALLS のミッションステートメントは「回復指向のケアシステムを構築することによって、回復を進める個人と家族の数、およびサービスの質、利用のしやすさの両方を大幅に向上させること」と表現されています。

ミッションとビジョンのステートメントを作成することは、自分が何をしているかを明確にし、一緒に働いている人たちのグループをまとめるのに役立つプロセスです。しかし、それらは石に刻まれているわけではありません。将来のある時点で、あなたの組織はあなたのミッションやビジョンのステートメントを改善したり変更したいと思うかもしれません。特に、ミッションステートメントやビジョンステートメントが少数のリーダーや創始者によってR C O設立初期の段階で作られたものである場合はその必要性が高くなるかもしれません。

ビジョンステートメントは、将来への希望を、つまりR C O成功の^{あかつき} 暁には現実になるかという結果のエンド・ポイントを提示します。ビジョンステートメントは通常、短く、要点を押さえており、覚えやすくしてあります。たとえば、ミネソタリカバリーコネクションは「アルコールや他の薬物への依存からの回復が理解され、促進され、受け入れられ、享受される世界であり、求めるすべての人が長期的な回復を達成するために必要な支援、ケア、資源にアクセスできる世界」を想定しています。

組織体制の構築

組織をサポートする強固な基盤を構築するには、時間、リソース、およびエネルギーが必要です。堅実な組織基盤はガバナンスの役割とプロセスを定義し、権限と意志決定の手順を確立します。これにより、R C Oはコミュニティと資金提供者に対して説明責任を負うことができます。

最初に、法人するかどうか、そうではなく別の組織のキャンペーンやプロジェクトとして開始するのかを決定します。前者の場合には、501 (c) (3)の組織として法人化に取り組みます。申請手続きについては情報源や支援

がたくさんあるので利用するとよい。弁護士も無料で申請を支援してくれます。取り組むべき課題の中には、メンバー構成、理事会設置方法、運営方法（リカバリーコミュニティ、役員、理事会の代表を含む）などがあります。法人化する場合は、定款を作成し、正式な組織構造を設定する必要があります。（いくつかのRCOの規定の例については、「参考文献」セクションを参照してください）

採用しない場合でも、組織の構造を設定し、会計のエージェントとの関係を正式化する必要があります。「回復の顔と声」は、501 (c)(3) になるまでの最初の6年間は法的アクションセンターのプロジェクトとして活動しました。

法人化するかどうかにかかわらず、RCOはビジネスプランを作成し、財務記録を保持し、資金調達機関に報告書を作成するための予算とシステムを確立する必要があります。事業計画には、情報資料及び資源の開発、事務所、ウェブサイト、通信及びその他のシステムの設置を含めるべきです。

事務所を開設したり、スタッフを雇ったり、その他の費用を負担するためには資金が必要です。初期の段階で多額の予算を確保し、強固な組織基盤を構築することを可能にする多額の助成金を受けられる組織もあります。他のRCOは、有料のスタッフやオフィススペースへの初期投資がほとんどなかったため、事業計画を遂行する能力を実証した後で資金を確保しています。

いずれにしても、RCOの潜在的な財務支援者が誰になるのかをリストアップし、彼らとの強い関係を築く必要があります。RCOはさまざまな資金源から資金を得ます。連邦政府の「回復アクセス」や「回復月間」などプログラムを通じて資金を確保します。州独自の補助金、助成金を得て

いるRCOもあります。州の低所得者向け医療扶助 プログラムを通じたりカバリーサポートサービスの提供を請求したり、州の矯正局や他の州機関との契約を通じて資金を受け取ることもできます。

コミュニティレベルでは、何百もの企業や地方自治体がイベントや活動を支援しています。民間財団もRCOが後援する活動や、回復の顔と声の「アメリカは回復を誇りとする」などの特別なイベントに対して資金援助を行っています。ホワイト・バイソンの先住民族の回復の歴史に関する書籍の印刷も助成金で賄われています。ロバート・ウッド・ジョンソン財団は初期の「回復の顔と声」を支援し、オープン・ソサエティ財団もRCOへの資金提供を行っています。

ケンタッキー州レベルのRCOであるPARは Greater Cincinnati の Health Foundation から資金提供を受けています。CCARはリカバリートレーニングから収益を得るためにテクニカルアシスタンスグループを立ち上げています。

このような支援はしかし、増え続けるRCOの財政ニーズを満たしていません。RCOの中には、主に回復している仲間、友人からの寄付によって自己資金を得ています。多くの人々は、長期的な財政の持続可能性を、回復のコミュニティからの支援という観点から思い描いています。このような支援は、個人献金やイベント献金、会費によって行われることが多いです。

一部の団体は、アディクション問題について関心を共有する友好団体との関係を築いています。これらの友好団体の中には、雇用者、教育者、信仰およびビジネスの世界の人々、医療提供者、弁護士、および資金提供団体が含まれます。

コミュニケーション

組織が立ち上がって活動を開始する際には、連絡を取り合うすべての人の名前と連絡先情報を追跡する必要があります。タウンホールミーティング、回復月間のイベント、その他の活動を行う場合は、参加者の連絡先をいただいて、アドボケイトのネットワークを構築することが大切です。データベースは機密性を確保することが必須条件です。

多くの組織では、メンバーと連絡を取り合うために Web サイトやフェイスブック、その他のオンラインページを作っています。また、情報やリソースを共有するために、毎週または毎月、電子ニュースレターを発行している組織もあります。他のコミュニケーションツールには、チャットルーム、メーリングリスト、ダイレクトメールなどがあります。

リカバリーコミュニティ組織を作る手順

- コアグループを設立する
- 理念を擁護するリーダーシップを確立する
- ビジョン、ミッション、目的の決定
- 業務基盤の確立（理事会、スタッフ、ボランティア）
- より多くの人材をリクルートし、巻き込み、働いてもらう
- 初期の段階では、1つないし2つのプロジェクトを選び、確実に遂行して信頼性を確立する
- 初期段階のプロジェクトは、小さすぎず、大きすぎず、「ジャストサイズ」が大切
- 成功と強みに立脚する
- マーケット：支持者、利害関係者、出資者候補と共に成功を促進する
- チャンスに気づいたらそれをシェアし、優先順位のシステムを確立し、自分に何ができて何がうまくできるかを意識する

アジェンダ（課題）の設定

RCOのビジョンとミッションを開発する過程で、あなたたちは回復のコミュニティから優先順位について聞きました。多くの組織が、プログラムの開発、アドボカシーキャンペーン、戦略的計画の支援などの継続的な取り組みの一環として、地域の強みとニーズを評価したり、コミュニティリソースの資産マッピングを行ったりしています。グループが発展している間は、特定されたすべての問題を一度に解決することはできません。代わりに、プログラムと活動の優先順位を設定する必要があります。たとえば、多くのRCOは、RCC（下の囲み記事参照）の開設に関心を持っています。そのプロセスの一部は、回復アジェンダを前進させるための機会が何であるかを評価することです。あなたの組織の能力を考慮したうえでですが、

投票権の回復のような、あなたがたの組織で取り組むことができ、評判を上げ、より広い支持基盤を築くことができそうな問題はありますか？組織のリーダーシップは、どのように意思決定を行い、どのように物事を成し遂げるかを決定する必要があります。組織のリーダーシップに関して、意志決定の仕方や取り組み方について決める必要があります。

バーモント州のアドボケート（提唱者）たちは、RCOの活動に取り組むためのスペースを確保しました。彼らはそこで回復の顔と声をあげ、公共政策の変更を提唱し、仲間の回復サポートサービスを提供しています。

現在、バーモントリカバリーネットワークという州内の11箇所のRCOからなるネットワークが組織されています。これらの公共の場所は、文字通り、教会の地下室からロードアイランド州のメインストリートに回復をもたらしています。

ロードアイランド州のRCO、ロードアイランド CARES は、Pawtucket のダウンタウンの Anchor Recovery Community Center に入居しています。

ペンシルベニア州のRCOである PRO^ACT は3つのRCC(RCC)を運営しています。RCCのネットワークは拡大を続けて、コミュニティの力を発揮しています。

コネチカット州の Connecticut Community for Addiction Recovery(CCAR)は、RCCの基本的な要素のリストを作成しました。

コネチカットのRCCとは次のようなものです。

- コミュニティの中心に位置するリカバリーの聖域である
- 目に見える物理的な場所である——RCOが多様なリカバリーサポートサービスと回復の顔を表現し、地元のリカバリーコミュニティのケア能

力を組織する場所

- 地元のコミュニティのためのリカバリーの資源である。アディクションのために苦しんでいる人々と家族が必要な支援やサービスを得るためにナビゲートしてくれる場所
- リカバリーの資源である。リカバリー関連のワークショップ、トレーニング、ミーティング、サービス、社会的イベントの体系化されたスケジュールを提供する

RCC (RCC) は、人々が自ら回復に取り組む場所であり、あるいは、他の仲間やRCCがプログラムや活動を実施するのを手助けする場所です。治療機関ではないので臨床サービスは提供しません。また12ステップのグループが作るクラブハウスでもないし、ドロップインセンターでもありません。

👉 ペンシルベニア州の3つのRCC

PRO-ACT Recovery Community Centers

Women's Recovery
Community Center



New Britain, PA

Philadelphia Recovery
Community Center



Philadelphia, PA

Southern Bucks Recovery
Community Center



Bristol, PA

A place in the community where individuals and families that have been affected by alcohol and drug use can find hope, help and healing.

RCOの成功は、あらゆる種類の関係を構築し、育成する能力にかかっています。最も重要な関係はリカバリーコミュニティとの関係です。そこには回復に取り組んでいる人々、家族、友人、同盟者がいるからです。コミュニティには、回復運動の未来のリーダーがいます。定年を迎えて引退した人、組織やコミュニティで指導的な地位に就くためにこれから成長する若者たちです。彼ら候補者がRCOの「回復アジェンダ」を運営する日を心待ちにしています。

祝典は回復運動を支える重要な部分です。回復の生きた証拠であるボランティアに対して公に感謝することは、個人を称え、回復メッセージを伝える方法の一つです。毎年のリカバリー月間の一環として、アディクションの回復を祝うことは、回復の現実を国民に知らせることに通じます。勝利を祝うことは、回復の現実と組織的なリカバリーコミュニティの強さを国民に知らせる方法です。

「回復の顔と声」は最近、エグゼクティブディレクターのリーダーシップアカデミーを立ち上げ、RCOのリーダーの間で正式なラーニングネットワークを構築しました。組織が発展していく中で、あなたが利用できる最高の資源の一つは、自分たちのRCOやRCCの先を行く組織です。また、あなたのRCOが成長し発展するにつれて、彼らはあなたたちの経験から学ぶことができますでしょう。

地域、州、地域組織の成長するネットワークを通じて、私たちは、アルコールや他の薬物のアディクションのために苦しんでいる友人、隣人、同僚、愛する人々を助けることが、コミュニティ全体に利益をもたらすことを示しています。長期的な回復には時間と支援が必要であるという理解を広めています。アメリカ人が回復を正しく認識し、回復プロセスを十分に理解してはじめて、差別を減らし、回復への障壁を低くするための法律や政策

が効果的に変更されるでしょう。

👉 ポートランドのRCC（2枚とも）



回復の権利章典

アルコールやその他の薬物への依存症を公衆衛生の危機として扱うならば、私たちは何百万人ものアメリカ人、彼らの家族とコミュニティの生活を改善することが出来るでしょう。この危機を乗り越えるためには、依存症を有する人々に尊厳を与えるとともに、回復への道筋は一つではないことを認識しなければなりません。個人が責任ある市民となるために努力するなら、自力で回復することも、他者の力を借りて回復することも可能です。効果的な支援は相互支援グループや医療従事者によって提供することができます。

回復のプロセスは、診療所や治療センターだけでなく、教会、刑務所、患者間相互支援ミーティング、もしくは自宅においてでも始めることができます。宗教的信条やスピリチュアルな体験によって導かれる場合もあれば、非宗教的な指導によって導かれる場合もあります。この国のいたるところで日々、依存症からの回復を遂げている人がいます。そして、回復のために今もなお奮闘している人たちには、効果的な解決策があります。その道筋がどうであれ、回復しようとしている人たちの基本的な権利が尊重されているならば、回復へのプロセスははるかに容易なものとなるでしょう。

1. 私たちは、依存症の影響で過去にどのような行為をしたとしても、自分自身を変えることができ、成長することができ、そして社会との結びつきを積極的に持てる存在だと見なされる権利があります。

2. 私たちは、依存症からの回復の多くの方法、依存症の性質、長期的な回復を阻む障害について、私たちの家族や友人たちと同様に、理解可能な方

法で伝えられ、知る権利があります。

3. 私たちは、依存症からの回復を手に入れようとする場がコミュニティや診療所、治療センターであれ、あるいは収監されている刑務所であれ、自分自身の回復目標を設定し、包括的で総合的な評価を含め、自分の健康状態についての正確で理解可能な情報に基づいて個別の回復計画を策定し、それに取り組む権利があります。

4. 私たちは、回復を支援するサービスやプログラムの有効性、それらのサービスを提供する人々の経験や実績に関して十分な情報を与えられた上で、自分の強みを伸ばせるサービスを選択する権利があります。

5. 私たちは、回復を積極的に考える組織や医療・ソーシャルサービス事業者のサービスを受ける権利があります。それらの組織や事業者は、公衆衛生および安全において最高の基準を満たし、サービスを迅速に提供し、私たちが丁重に扱い、自分の強みを活かすことが私たちのモチベーションに関連することを理解し、私たち自身および私たちの家族と共に回復への道を見つけるために取り組んでいくものとします。

6. 私たちは、統計的数値やリスクスコア、診断、病理学のたんなる要素として見なされず、道徳的に問題のある弱い人間だとする社会的烙印を受けず、また、そのようなレッテルやステレオタイプに分類されない権利があります。もし私たちが逆戻りして再び治療を開始することになっても、長期的な回復を達成するためのたゆまぬ努力が歓迎され、尊敬の念を持って扱われるべきです。

7. 私たちは、依存症を持った人々の強さおよびニーズを認め、私たちの文化的信条を尊重しながら回復を目指すケア活動を提供する医療・ソシヤ

ルサービス制度を利用する権利を持っています。この支援には、回復に関する宗教的、スピリチュアル的、および世俗的なコミュニティの紹介、および治療経験の一部として家族、親戚および土着信仰の治療家の関与が含まれている場合もあります。

8. 私たちは、いったんアルコール・薬物乱用をやめ回復の道を辿っているならば、私たちの代表者として、教育や住まい、雇用の機会の障壁の排除に取り組む、学識豊かな政策立案者をたてる権利があります。

9. 私たちは、医師およびその他の医療従事者から丁重で無差別なケアを受け、保険、自己積立／自家保険型医療プラン、メディケアおよび HMO（保健維持機構）プランにおける支給、自己負担、生涯給付、高額医療費について、他の慢性疾患の患者と同様の基準でサービスを受ける権利があります。「適切な」ケアの基準は、あくまでも医療従事者と私たち自身との間で判断されるべきものであり、私たちの病気の重症度、複雑さおよび持続期間を反映し、回復を維持するための合理的な機会が与えられるものとします。

10. 私たちは、刑事司法制度の中においても治療や回復への支援を受け、刑期を終えたら、社会における立場および権利を再び得る権利があります。

11. 私たちは、依存症からの長期的な回復の実例を世間に知らせるために、自らの回復について自由に公然と話す権利があります。

（「回復の権利章典」はすべての米国人がアルコールやその他の薬物への依存から回復する権利を有するという原理の宣言です。2002 年米国内の関係諸団体の評議員会 “Faces & Voices of Recovery” によって採択されました）

【田坂まどか翻訳、小沼杏坪監訳】

日本語版発行に当たって：

この文書は Recovery Community Organization Toolkit（＊）の翻訳です。横浜依存症回復擁護ネットワーク（略称；Y-ARAN）の事業活動の参考資料として翻訳しました。翻訳に当たっては日本の現状に合わせて若干の編集を行いました。

Y-ARANは今年の5月にNPO法人として認可された依存症当事者、家族が主体となった草の根組織であり、理念やミッションはアメリカのカバリーコミュニティ組織（RCO）を範としています。Y-ARANがこれから本格的な活動を始めるとあって、RCOの情報が必要であると判断し、翻訳したものです。

このツールキットは他の地域でRCOを始めうへでも役に立つと思います。アディクションは場所を選びません。国境がないのです。ということは、どこかの国や地域でうまくいっている「解決方法」はほかの所でもうまくいく可能性が十分にあるはずです。さらに、いずれ立ち上がると期待している Faces and Voices of Recovery Japan の資料としても役に立つはずです。活用していただけると嬉しいです。

ご意見、誤訳のご指摘、ご質問は下記あてお願いします。

isamushiroma@asahi-net.email.ne.jp

2019.5.26 城間